

L I M

Latest Information Mail

● シーズンも間もなく終了。見納め間近です。

街中でも街路樹としておなじみのイチョウ。初夏には鮮やかな緑色を、晩秋に向けた今は目の覚めるような黄色のじゅうたんで私たちの目を楽しませてくれます。

最も身近で紅葉のシーズンを感じさせてくれるイチョウ。皆さんも今度のお休みに散歩に出かけられてはいかがでしょうか？

● イチョウは生きた化石？

普段見慣れている分意外に思うかも知れませんが、実はイチョウは非常に珍しい分類の樹木です。葉の形から広葉樹と思われがちですが、針葉樹に分類されます。

また、イチョウ科の樹木は他の種類は既に絶滅しており、このイチョウのみが唯一残っているのです。

1998年には国際自然保護連合(IUCN)の絶滅危惧Ⅱ類と評価されています。

● もう一つの魅力は「ぎんなん」！

秋口のイチョウのもう一つの楽しみは「ぎんなん拾い」です。

秋の味覚でもあるぎんなんはその独特の臭いのため、近年、ぎんなんのなる雌株が街中から姿を消しつつあります。

しかし、大きな公園などでは残してあるところも多く、この時期になると銀杏を拾いに来る人を見かけます。

ぎんなんを拾う場合は、果肉に含まれるギンコール酸が身体につくことでかぶれの原因になるためゴムやビニールの手袋を使いましょう。

また、ぎんなんの実を食べる場合は銀杏中毒の可能性があるので、特に子どもが食べる場合はごく少量(1日3~4個程度まで)に留めるようにしましょう。

